

3.3 結果と再注入

補修後貯水位を上昇させ WL880mでの漏水量を試験湛水時と比較すると 115 l/min が 20 l/min に減少して補修の効果が確認された。しかし、貯水位を常時満水位 900mまで上昇させるに伴って漏水量が増加したことから、図 3.7 に示す注入孔により再注入を実施した。再注入では注入圧を 1kg/cm^2 とした。注入の実績は図 3.8 に示すとおりである。初回注入量(S60.4)に対して、追加注入量(S61.2)は、大きく減少している。

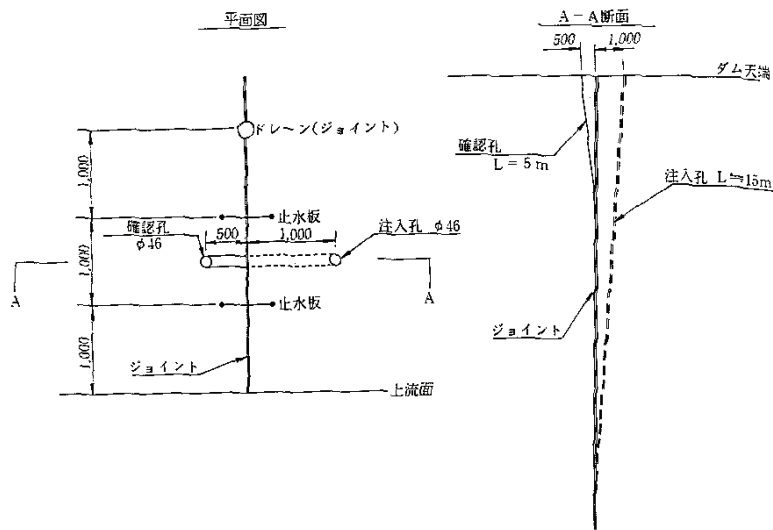


図 3.7 再注入時の注入孔

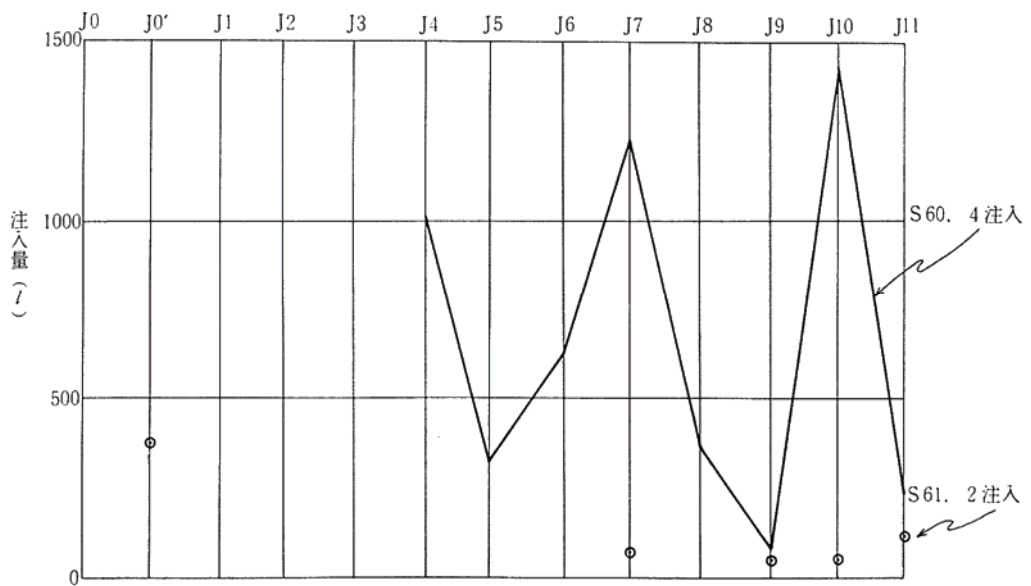


図 3.8 注入量実績